

ほーほーどり

我孫子野鳥を守る会

No.200

2008年

1～2月号

新春とほーほーどり200号発行に寄せて

会長 間野 吉幸

明けましておめでとうございます。「ほーほーどり」200号発行おめでとうございます。我孫子野鳥を守る会が1972年3月に発足し、2年後の1974年11月に「ほーほーどり」が創刊され、以来、今回の200号まで実に33年余の歳月に亘り永々と休むことなく発行されて来ました。

「ほーほーどり」は会と会員の皆様を結ぶ機関紙で、会の行事案内、行事報告、会員の投稿、鳥便り、会員便り等会の活動を生き生きと伝え続けています。探鳥会に参加された方の感想文は、探鳥の感動を夫々の視点で表現が読者に切々と伝わって来ます。また投稿も素晴らしい内容が掲載され見逃すことは出来ません。正に当会を支える柱の一つであります。

さて創刊号の発行にあたり、初代会長の渡辺義雄さんが次の様に述べられていました。

「近郊都市我孫子の開発が進むにつれ、自然の森は失われつつあります。年々汚れて行く手賀沼そしてどんどん埋め立てられて行く田んぼは、私は何か不安と恐ろしさの念をいだかずにはいられません。このままでいったらいったい手賀沼は、鳥達は、蝶はどうなってしまおうか。想像しただけでも寒さを覚えます。(略)
この貴重な自然の宝庫を守り、花を植え、木を増やし、鳥をよび、豊かな我孫子を作りたいものです」

自然を守り、野鳥を守りそして豊かな自然環境を復活させたいと言う気持ちがひしひしと伝わって来ます。この時の水鳥の数は、会の調査では4,000羽と推定されていました。これより3年前は9,000羽(第2号ほーほーどり)であったと述べられています。当会が定点調査を開始した1977年1月の水鳥は3,285羽でした。30年後の2007年1月は1,393羽と、減少傾向に歯止めが掛かっておりません。

手賀沼周辺もふれあい緑道が整備され、人にとって快適な環境になって来ております。水鳥の立場に立ったらどうでしょう。私達は一度壊した環境を元に戻すのは、大変な労力とお金が掛かることを学んでいます。しかし人間は、自分の快適さを求めて開発を進めて行きます。その時、野鳥(生物)の視点に立った対応も必要と思います。

汚れていた手賀沼は、多くの人の努力と北千葉導水の運用開始で綺麗になりつつあります。沼本来の姿に戻っていませんが、たまっけ(カラス貝)が手賀沼に復活しつつあると先日お聞きしました。嬉しい情報です。これからは水草の復活が望まれます。

当会は、会員の皆様の多くの参加を得て、探鳥会、野鳥調査活動、野鳥啓発活動、外部イベント等幅広く活動して参りました。野鳥に関心を持つ人を増やし、野鳥が棲みやすい環境を求める声を大きくしたいと思います。今年も正月より探鳥会が計画されています。会員の皆様におかれましては、楽しく元気に当会の行事に積極的に参加され、ご活躍されることを願っています。

行 事 案 内

1 月手賀沼探鳥会とカウント

期 日 1月13日(日) 雨天中止
集 合 我孫子市役所 午前9時
案 内 2008年最初の定例探鳥会です。冬鳥のピークで、手賀沼は水鳥で賑あう季節です。カモ類の識別に挑戦してみましょう。そして、空にはチョウゲンボウのホバリング、葎原にはベニマシコなど、沢山の鳥たちと出会い、今年の鳥運、鳥果を願いたいと思います。

解 散 正午
担 当 桑森、小林(寿)、野口(紀)、北原、佐々木、松田

2 月手賀沼探鳥会とカウント

期 日 2月10日(日) 雨天中止
集 合 我孫子市役所 午前9時
案 内 多くの種類のカモが見られるこの時期、きれいになったオス達の求愛ディスプレイを観察しましょう。

解 散 正午
担 当 北原、佐々木、松田、桑森、小林(寿)、野口(紀)

波 崎 探 鳥 会 (再掲)

期 日 1月3日(木) 雨天中止
集 合 我孫子駅北口 午前8時
持 参 観察用具、雨具、防寒具、昼食(途中購入可)
案 内 例年50種以上が記録されている水鳥中心の変化に富んだ探鳥会です。ミコアイサ、ミヤコドリ、シノリガモ、カンムリカイツブリ、ハジロカイツブリ等の集団に会えた時には

感激です。現地の状況により、最終の立ち寄り場所が変わります。

交 通 自家用車分乗です。便乗者は一人1,500円を運転者にお渡しください。申込の際、自家用車を提供可能な方はその旨ご連絡ください。

申 込 松田幸保まで
〒270-1166
我孫子市我孫子 1780-32
Tel/Fax : 04-7182-8307

担 当 松田

井 頭 公 園 探 鳥 会

期 日 2月3日(日) 雨天中止
集 合 我孫子駅北口 午前8時
交 通 今井観光バス
案 内 もうすっかりお馴染みの新年探鳥会です。水辺の鳥と里山の鳥を同時に観察できる貴重な公園です。昨年はミコアイサ、ミヤマホオジロ、シメ等41種類。A、B班に別れて行なうバードソンも楽しみの一つです。

持 物 防寒具、弁当
費 用 3,000円(バス代)
申 込 猪爪敏夫まで(定員30名になり次第締切ります)
〒270-1143
我孫子市天王台5-13-6
Tel/Fax 04-7186-5075

担 当 猪爪、小林(寿)

清 里 ・ 野 辺 山 探 鳥 会

期 日 2月23日(土) ~ 24日(日)
集 合 我孫子駅北口 午前8時
交 通 今井観光バス

宿 舎 ねむの木ペンション
山梨県北杜市高根町清里 3545
Tel: 0551 48 3395

費 用 22,000 円程度を予定
往復の昼食は各自負担

案 内 1300-1400m 雪の清里・野辺山高原
で、オオマシコ、ベニマシコ、ハギ
マシコ、アトリ、ミヤマホオジロ、
フクロウ等を、清里湖でオシドリ、
トモエガモ、ヒドリガモ等、水鳥を
観察します。なお、ペンションの窓
より庭に来る小鳥、リスが観察でき
ます。

持 物 観察用具、雨具、防寒具（戸外で相
当冷えますので、十分な防寒着を用
意ください）、靴（雪原で雪が入ら
ない靴）、洗面用具（タオル持参く
ださい）、パジャマ、常備薬等

申 込 受付開始 1月 6 日(日)
鈴木静治まで、
Tel: 04 7169 4191

担 当 諏訪、鈴木(静)

の皆様の参加をお待ちしておりま
す。

担 当 染谷、佐々木、松本、間野

市民活動フェア in あびこ 2008

当会は「市民活動フェア in あびこ 2008」
に参加します。開催日は 2008 年 3 月 1 日
(土)・2 日(日)、会場はアビスタ。今回は
JBF で好評だった「紙芝居」と「パネル展
示」で参加する予定です。「パネル展示」は
2 日間常設ですが、「紙芝居」は 3 月 1 日(土)
10:00~12:30 の限られた時間内での実演
となります。会員の皆様にはご家族やご友人
をお誘い併せの上お出掛けくださいますよ
うお願い致します。フェア開催日は市内の約
90 団体が展示や講演会や実演を繰り広げる
予定です。詳細は 1 月・2 月の定例探鳥会他
でお配りする案内チラシをご参照ください。
(佐々木、松本)

市民手賀沼探鳥会

期 日 1月 27 日(日) 小雨実施
集 合 手賀沼親水広場 午前 9 時
案 内 我孫子市、我孫子市環境レンジャー
と当会共催の探鳥会です。一般市民
と一緒に手賀沼遊歩道を歩いての
探鳥会で、大勢の市民の方が参加さ
れます。会員の皆様の沢山のサポ
ートが必要となります。昨年はオオタ
カ等 3 種の猛禽類をはじめ 46 種の
野鳥が観察されました。多くの会員

1 月幹事会開催のお知らせ

日時 1月 13 日(日) 13:30~16:00
場所 アビスタ 1F 工作工芸室
議題
1. H20 年上期 行事予定
2. 会報 201 号記載記事について
3. HP ページの開設について
4. 第 3 四半期会計報告
5. 報告事項 (JBF 実行委員会反省等)
6. その他 (議題提出する場合は事務局に
連絡ください)

行 事 報 告

10 月手賀沼探鳥会とカウント

調査日時 2007 年 10 月 14 日 9:00~11:

30 曇り、弱風、気温 20
<認めた鳥> カイツブリ、カワウ、ゴイサ

ギ、ダイサギ、チュウサギ、コサギ、アオサギ、コブハクチョウ、マガモ、カルガモ、コガモ、キンクロハジロ、ミサゴ、チョウゲンボウ、キジ、バン、オオバン、タシギ、ユリカモメ、セグロカモメ、オオセグロカモメ、アジサシ、キジバト、カワセミ、コゲラ、ヒバリ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、モズ、シジュウカラ、メジロ、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス
計 36種 番外 カワラバト

<探鳥班> 宮下三禮、西巻実、北原建郎、中野久夫、常磐孝義、間野吉幸、大久保睦夫、田丸喜昭、類地佑子、松本勝英、松本葉子、川村美恵子、川村美智子、武藤康之、佐藤弘実、片桐邦夫、西嶋昭生、西嶋みどり、岩田孝之、村瀬和則、諏訪哲夫、野口隆也、吉田隆行、六角昭男、西城猛、柴本三弘、柴本法子、小林秀美、植田啓介、天野正臣、小玉文夫、大野真澄(担当) 佐々木隆
参加者 33名

<カウント班> 木村稔、桑森亮、田中功、染谷迪夫

調査種	上沼	下沼	合計
カイツリ	2	3	5
カワ	37	85	122
アマサギ	0	1	1
ダイサギ	5	6	11
チュウサギ	0	13	13
コサギ	11	16	27
アオサギ	10	4	14
コブハクチョウ	7	4	11
オドリ	0	9	9
マガモ	0	14	14
カルガモ	14	16	30
コガモ	32	0	32
ヒドリガモ	4	0	4
オナガガモ	57	4	61
オオバン	2	5	7
ユリカメ	14	16	30
セグロカメ	3	2	5
合計	198	198	396

<ピオトープ班> 猪爪敏夫、谷山晴男、鈴木静治

11月手賀沼探鳥会とカウント

定例は第2週ですがバードフェスタのため、第3週に実施しました。天気も良く絶好の探鳥日和。

調査日時 2007年11月18日 9:00~11:30 晴れ、微風、気温16

<認めた鳥> カイツブリ、ハジロカイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ、ゴイサギ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、コブハクチョウ、マガモ、カルガモ、コガモ、オカヨシガモ、オナガガモ、ハシビロガモ、キンクロハジロ、ミコアイサ、ミサゴ、ノスリ、バン、オオバン、ユリカモメ、セグロカモメ、キジバト、カワセミ、コゲラ、ヒバリ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、タヒバリ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、ツグミ、エナガ、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス 計43種

<探鳥班> 大久保睦夫、諏訪哲夫、桑森亮、榎本右、吉田隆行、小玉文夫、吉川洋、松田幸保、西巻実、石渡成紀、田丸喜昭、松本勝英、片桐邦夫、松本葉子、川村美智子、川村美恵子、佐藤弘美、古出洋子、小口勝久、玉井修一朗、武藤康之、西嶋昭生、西嶋みどり(担当) 小林寿美子、北原建郎
参加者 32名

<カウント班> 木村稔、佐々木隆、田中功、染谷迪夫

調査種	上沼	下沼	合計
カイツリ	10	8	18
ハジロカイツリ	1	1	2
ミミカイツリ	0	1	1
カンムリカイツリ	18	12	30
カワウ	27	100	127
ダイサギ	3	3	6
コサギ	3	18	21
アオサギ	1	1	2
コブハクチョウ	13	12	25
マガモ	4	0	4
カルガモ	58	5	63
コガモ	18	77	95

オシガモ	1	2	3
ヒドリガモ	0	1	1
オナガガモ	0	10	10
バン	1	0	1
オオバン	13	18	31
ユリカモ	3	29	32
セグロカモ	0	2	2
合計	174	300	474

<ピオトープ班> 猪爪敏夫、川田光男、谷山晴男、鈴木静治

渡良瀬遊水地探鳥会

11月23日

150羽のヨシガモの群れに興奮

戸谷輝夫

ひさびさの観察会に緊張して参加した私でしたが、懐かしい顔、新しいお仲間の顔、皆さんの温かい笑顔に迎えられ、あっという間に溶け込んでいく心地よさを感じました。そうだった！これが私を野鳥観察の世界に誘い込んだ我孫子野鳥を守る会に、昔から息づく伝統の包容力でした。

さらに願ってもない好天気恵まれ、ハンドルも軽く、あっという間に渡良瀬遊水地に到着。ここは群馬県・栃木県・茨城県・埼玉県にまたがる広大な湿地帯で、洪水対策の遊水地として整備されてきたそうです。遊水地の堤防を越えて入り込むと、まずはその広さに圧倒されます。解説によると、面積は33k㎡東京ドームの約730倍、総貯水容量はサンシャイン60をひと升として約220杯分、外周距離は何と約30kmというから、並みの広さの湿地帯ではないことが伝わってきます。このような広い面積があるからこそ数多くのワシタカ類を養うことができるほど豊富な生態系が維持されているのでしょう。

まずは谷中湖(谷中ブロック)を一周。好天気とは言え上州名物の空っ風は容赦なく、完全武装での観察が始まりました。まだカモ類はマガモとヒドリガモが中心で、種類と数はこれからという感じでしたが、私達を興奮させたのは約150羽にもなるヨシガモの群

れでした。これだけの群れを同時に見たのは初めての経験です。

昼食後はアシ原に囲まれた旧谷中村歴史保全地区を巡ってみました。足尾銅山の鉱毒問題と遊水地構想のために、集団移住を余儀なくさせられた悲しい村の歴史は、深いアシ原の中に埋没してしまった感がありました。強い風のためか、たくさんいるはずの小鳥は声も影もひそめてしまったようです。

それではと遊水地の中央を流れる渡良瀬川にかかる新赤麻橋を渡って、東側の第2調節池の堤防に車を移動しました。ここは鷹見台と呼ばれるほどの人気スポットで、この地域の生態系の頂点に立つワシタカ類の飛翔を楽しむことが出来ます。期待にたがわず、まずはチュウヒが右に左にと登場し、またミサゴ・トビ・ノスリなど、そしてねぐら帰りで見られるカワウの編隊。もう少しもう少しと名残り惜しみながら観察会を終えましたが、帰路の車中でも、あの広大なアシ原が脳裏から離れませんでした。

この観察会の企画・案内をしていただいた方々に、そして久々の出会いを温かく迎えて下さった皆さんに、あらためて感謝申し上げます。

【幹事報告】

<認めた鳥> カイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、マガモ、カルガモ、コガモ、ヨシガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、ホシハジロ、ミコアイサ、ミサゴ、トビ、オオタカ、ノスリ、チュウヒ、オオバン、ユリカモメ、セグロカモメ、キジバト、カワセミ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、ツグミ、ウグイス、シジュウカラ、ホオジロ、アオジ、カワラヒワ、シメ、スズメ、ムクドリ、オナガ、ハシボソガラス、ハシブトガラス 計41種

<参加者> 鈴木静治、野口隆也、井上正、大久保陸夫、吉田隆行、諏訪哲夫、戸谷輝夫、西巻実、田中功、田丸喜昭、田丸メリーリス、川上貢、松本勝英、松本葉子、小川克子、松下勝子、宮下三禮、島崎純造、石渡成紀、松田幸保(担当幹事) 桑森亮、小玉文夫 参加者22名

JB F 2 0 0 7 が開催されました

ジャパンバードフェスティバル2007が、11月10日(土)、11日(日)の2日にわたって、手賀沼公園、親水広場など計8会場で開催されました。出展団体数125団体。開催中の来場者は2日間とも雨模様もあって前回(2006年度)の3割強(18,000人)とのこと(JBF実行委員会オフィシャルの公表)我が会も実行委員会の一員として下記のイベントに参加いたしました。お手伝い頂いた会員の皆さんにお礼申し上げます。尚、当会ブースを訪れた人は2日間で420人位ありました。

1. 「庭に鳥を呼ぶ」

例年の如く、鈴木(静)さん、北原さんと染谷が集めた鳥の好む木の実や草の実の実物標本を陳列しました。ブースを訪れた人はよくこんなに集めましたね!と感心していました。

陳列した木の実 46種類

陳列した草の実 4種類

エサ台の販売 30個完売

2. 「パンフレット」の配布

バードケーキの作り方

木の実のなる樹木のパンフレット

3. 「紙芝居=手賀沼のカラスさん」の上演

2日間にわたって述べ50回位上演、観客200人以上

紙芝居の作者 首藤佑吉(当会会員)、作画 森元夏木(鳥博友の会会員)

4. 「野鳥クイズ」

ブースを訪れた人や紙芝居を見た人達に10問100点満点の野鳥クイズをしてもらいました。満点賞として会員手作りの鳥のミニチアを贈呈しました。紙芝居を見た人は満点が多く、最後は鳥のミニチアが足りなくなるほどでありました。クイズ回答者には全員に鳥の写真カードとアメを景品として出しました。今回は2日間で182の方がクイズに参加しました。

5. 「食性別にみた手賀沼の水鳥30年の推移」

水鳥の手賀沼における食性別の動向を、グラフを使ってパネル展示で説明。A1パネル8枚の大作

6. 「噴水前ウオッチング」(諏訪哲夫)

10日は終日雨という悪コンディションでスコープを立てられず双眼鏡のみの観察となった。観察できた鳥は番外種を入れて32種でまずまずだった。雨が降ると噴水前はどのようなので来年は噴水前にもブースが必要と思う。

11日は曇りであった。来場者は午前中はばらばらだったが午後は途切れる時間帯があまりないという状況だった。今年からその日に見た鳥の写真を張り出したのが非常に良かった。写真を見ての質問もかなりあった。質問で多かったのは今年もパリケンでかなりの人がなんという鳥か質問していた。来年は「守る会」の活動や入会申込書を準備して机上においておきたい。何人かの人から入会について聞かれた。

今年はカヌー教室はなかったようだが個人的にカヌーを使う人がいて噴水前に近付き鳥たちを逃がしていた。

噴水前ウオッチングで認めた鳥

10、11日の2日間とも認めた鳥

アオサギ、オオバン、オナガガモ、カイツブリ、カルガモ、カワセミ、コサギ、コブハクチョウ、スズメ、セグロカモメ、ダイサギ、ハクセキレイ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、バン、ヒヨドリ、ムクドリ、モズ、ユリカモメ、計19種

10日のみ認められた鳥

カンムリカイツブリ、キジバト、セグロセキレイ、ミサゴ 計4種

11日のみ認められた鳥

コガモ、シジウカラ、スズガモ、チョウゲンボウ 計4種

2日間合計27種

番外種 アヒル、カワラバト、シナガチョウ、バリケン 計4種

担当会員

10日 田丸喜昭、大久保陸夫、川上貢、諏訪哲夫 4名

11日 田丸喜昭、大久保陸夫、川上貢、木村稔、島崎純造、村瀬和則、諏訪哲夫 7名

7. 「船上バードウォッチング」(猪爪敏夫)

今年のJBFは「雨とぬかるみの中での奮闘」ということだろう。過去のJBFは全て秋の晴天の中での実施してきたと記憶している。今年は11月9日の準備の段階で天気予報は翌日、翌々日とも雨、一時激しく振る時間があると報じていた。予報が外れることを祈りながら前日の準備をした。

当日早朝ブースへ行くと、受付ブーステントの下まで水溜りが広がり、排水の設備がない場所で更に拡大する様子。テントを西に1メートル移動し、なんとか受付窓口をつくり格好づけた。まもなく、乗船希望者第1号がこの雨の中を来場した。埼玉県の川越から早朝、車でかけつけたとのこと。今回で3度目の参加だそうだ。今年は、このようなピーターが多くJBFも回を重ねるうちに常連さんが大勢できてきて、この雨の中を来場してくれてうれしい限りである。

初日の10日は、第1便(23名)、第2便(32名)はなんとか便を仕立てられる人数であったが、第3便は夕方と雨とも重なって10名確保するのに苦労した。

第2日の11日は、前夜来の雨でテントの中の水たまりが更に拡大し、受付係の足場を確保するため、我孫子高校の生徒さん達(サポーターさん)の協力を得て水溜りの水を柄杓で汲み出す作戦を展開。早朝から熱烈なファンが続々と来場し第1便36名、第2便40名で盛況であった。

2日間の結果は乗船人員141名(前年200名)でやや少なめ、10日の雨天がかなり影響したようだ。地元の我孫子市内者が少し減って(21%)、我孫子市以外からの来場者が増加し(79%)。今回は雨天の中での2日間ゴム長靴で四苦八苦し奮闘したのであった。

観察された鳥 2日間 22種

カイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ、ゴイサギ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、コブハクチョウ、マガモ、カルガモ、コガモ、オナガガモ、ミサゴ、チュウヒ、オオバン、ユリカモメ、セグロカモメ、キジバト、カワセミ、スズメ、ハシボソガラス、ハシブトガラス

[行事に参加した会員]

11月9日(金)ブース設営、レセプション、11月10日(土)、11日(日)のイベント実施に述べ70人の会員が参加されました。

柏市中原小 探鳥指導

日時 10月30日(火)14:30~16:20

場所 手賀の丘少年自然の家周辺と手賀沼染入り落し・お立ち台周辺

参加者 柏市立中原小4年生57名 先生3名

探鳥指導内容 : 4年生が手賀の丘少年自然の家に一泊する総合学習のカリキュラムの中で、野鳥観察を希望した1組から4組の生徒57人と先生方3人を、隣接する

手賀の丘公園と手賀沼で野鳥観察の指導をした。手賀の丘公園では冬の季節に見られる山の鳥、手賀沼では冬の水鳥を観察。身近にいろいろな鳥を観察して、生徒はかなりの興味を示し、感激し驚きもあったようだ。約 2 時間の観察であったが集中力が途切れなかった。普通なかなかみられないことである。好きなことをするという事は子供達にとって大事なことだと思った。

当会探鳥指導者 猪爪敏夫、諏訪哲夫、大久保陸夫、北原建郎、中野久夫、染谷迪夫、松本勝英 7名

認めた鳥 : カイツブリ、カワウ、ダイサギ、コサギ、マガモ、カルガモ、オナガガモ、オオバン、ユリカモメ、カワセミ、コゲラ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、ジジュウカラ、アオジ、スズメ、ヤマガラ、コブハクチョウ、ハシブトガラスハシボソガラス 21 種 番外 カワラバト

手賀沼クリーン作戦

平成 19 年 10 月 14 日 午後実施。定例探鳥会を実施しているエリアを清掃。

(清掃場所 柏市沼南地区下手賀沼 染入り落しから東約 1 km)

参加者 染谷迪夫、吉田隆行、佐々木隆、宮下三禮、諏訪哲夫、北原建郎、松田幸保、木村稔、大久保陸夫、小玉文夫、西嶋昭生、村瀬和則、柴本三弘、間野吉幸、田丸喜昭 計 15 名

回収したゴミ 可燃・不燃 40l ゴミ袋 4 袋 計 160l

会 員 便 り (ab-birdnet、 ab-news より)

房総風土記の丘

10/20、風土記の丘でマヒワ 30 羽の群れを見ました。又、シジュウカラ、エナガ、メジロ、コゲラ約 50 羽の混群が採餌に飛び回っています。(10/21 首藤佑吉)

房総風土記の丘

20 日に上記へ鳥見に出かけました。桜が二本花をつけていました。

ヤマガラの色が太陽に映えてとても綺麗でした。まだ、本格的な冬鳥の季節になっていないのと、木の葉が木々に残っているので、見た鳥の種類は限りがありました。

坂田ヶ池には、渡りの季節よりもカモの数が少なかったですが、一番多かったのがハシビロガモで、カルガモ、コガモ、スズガモ、マガモの順でした。ハシビロガモの二羽の♂は、冬羽に近い色を出していましたが、他の♂は、頭部が黒ずんでいるだけで、冬羽には変わっていません。面白かったのは、ハシビロは、ほとんどがツガイで行動していました。前の冬からのカップルなのでしょうか。これからの冬の季節のうちに、新しいパートナーをそれぞれが見つけるのでしょうか。コガモは、まだ、夏羽でした。スズガモは、エクリプスの最中で、♀の嘴の周辺の白い輪で、スズガモとわかりました。マガモは、冬羽でした。公園内のごみを集めている人から、池の公園管理棟周辺に、ジョオビタキの♂がきていると話していましたが、見には行きませんでした。(10/22 田丸喜昭)

つくば市高崎の森公園

好天の昨日(11/5) 秋を見つけに高崎の森公園に足をのびました。今年は、公園の木々に緑が多く、秋の到着の遅れを示していました。鳥の個体の数は、やや少なめでしたが、種別では、秋を感じる事ができました。私たちが、この季節で初めて見たのは、ジョウビタキ♂、アオジ(数は増えている) ツグミ、ピンズイでした。

モズの♀が、数分にわたり、連続して警戒音で鳴き続けていたので、他のモズか異種の鳥

が周辺にいるかと思いましたが、それらは見かけず、私に警戒しているのかと思いましたが、私の方を見ることもなかったので、原因はわかりません。ノスリが上空を旋回しました。つくば市が公園を管理するようになり、整備が進められています。(11/6 田丸喜昭)

コクマルガラス

今朝(11/8)7時半ごろ、北新田にコクマルガラスが1羽きていました。私はコクマルガラスを見たのは初めてです。北新田橋の西側3本目の南北道沿いの農免道路近くの田んぼで採餌したり、電線にとまっていた。ときどきハシボソガラスがからんで追っかけていました。写真うまく撮れていなかったため、9時過ぎに再度行きましたが見当たりませんでした。(11/8 中野久夫)

北新田

昨日11月15日は狩猟解禁日、北新田は銃猟禁止で静でしたが、対岸の取手側からは銃声が盛んに聞こえました。

- ・ツグミの初認は12日で、昨年より10日遅れでした。
- ・8日、コクマルガラスが1羽来ていました。北新田では初めての記録です。
- ・13日の朝も西へ飛んでゆくのが見られました。
- ・昨日15日、越流堤横の柳上でアリスイが鳴いていました。(11/16 中野久夫)

カモ狩猟解禁

15日に朝布施新町を歩いていると北のほうから銃声がします。6時20分ごろです。25分にはやみました。銃猟解禁ですね。日の出に解禁するので一斉に発射するんですね。カモなどが発射すると居なくなるので5分ほどでやむわけです。カモたちの受難のときです。(11/16 西巻実)

マヒワとヒシクイ

11/17(土)に手賀沼課の谷津学校の講師として、10:00~12:30ごろ、谷津学校の皆さんと岡発戸の谷津をぐるりと歩いて鳥を中心に自然観察しました。その際に、種は不明なのですが、小さな鳥が30とか50とかいう数で、樹冠よりやや高いかという高さを、飛び回るのが観察しました。マヒワではないかと思いましたが、受講生の方もいらっしゃいますので、種不明の鳥だけを追いかけているわけにも行かず確認はできませんでした。守る会の皆さんの観察ではマヒワは旧沼南側だけでしょうか？我孫子側はいかがでしょう？

ついでですが、以前鳥研でアルバイトされていた、中森さんが先週我孫子に来ておられまして、11/16(金)の午前中に手賀沼のフィッシングセンター前の水面で、種ヒシクイ(亜種は不明)を3羽観察されたそうです。

同日午後には中森さんが見たときには見られなかったそうです。午前中もやや落ち着かないようすだったそうです。翌日、谷津学校の始まる前に、私も見にいって見ましたが、ざっと見たところではいませんでした。(11/19 平岡考)

コハクチョウ

10時45分に鳥博前で、斉藤学芸員が指差す方向を見ると、西に向かうコハクチョウの群が24羽(斉藤さんが声で判定しました)。

北へ方向を変えたので菅生沼へ向かったのではないのでしょうか、北新田に途中下車してくれると楽しいですね。(11/20 松田幸保)

マヒワ

平岡さんが17日に観察された小鳥の群れはマヒワで間違いのないと思います。私は10月下旬(20日)に谷津とゴルフクラブ側とを行き来するマヒワの群れを見えています。首藤美恵子さんも観察したそうです。(11/20 木村稔)

三番瀬のミヤコドリ

11月25日、午前9時、三番瀬海岸、晴、この日の満潮は午前5時で、干潮が午前11時海水が程よく引け、干潟が現れ始めた時刻で、多数のミヤコドリ、ハマシギ、シロチドリ、ダイゼン等が砂浜近くで採餌を一生懸命している良い時刻。海面の遠くには、スズガモの

群が遠望できた。

私のカウントで、ミヤコドリは 130 羽+であった。これは、私が日本で見たうちでは、最大数であった。日本野鳥の会千葉県支部のリーダーの話だと、今年か去年、満潮時に堤防に固まっていたミヤコドリは 180 羽を数えたそうである。近くに 200 羽を越えるミミカイツブリの群が、一塊になって動いていた。(11/26 田丸喜昭)

北新田

- ・コチヨウゲンボウは畦の排水栓から飛立ち、小鳥めがけて猛スピードで追っかけ行きましたが捕らえられませんでした。
- ・11月17日、ムナグロ7羽が耕田で休息していました。ムナグロは今までも11月中旬まで時々観察されています。(12/2 中野久夫)

我が家のシメ

今冬も昨日(12/8)からシメが我が家の餌場にやって来るようになりました。昨冬は12月5日でしたから3日ほど遅い到着です。これで6シーズン目になります。同じ個体かどうかは不明ですが我が家の餌場が近辺のシメ達に知られているということなのかなと思っています。又今シーズンも楽シメそうです。(12/9 諏訪哲夫)

鳥 だ よ り

- | | |
|--|---|
| 09.14 [高野山] ヤマガラ(1) 水浴
平岡孝 | 09.28 [北新田] ㇿㇿンボウ(1) 加込に絡ま
れる
中野久夫 |
| 09.22 [布施あけぼの山農業公園] ャドリ
(1) 14:07、日本庭園と公園の境の斜面
林に止まった後渡去を何度か繰り返して
いた
飯泉仁・久美子 | 09.28 [弁天下] ㇿㇿ(2) 2号排水路で
採餌
中野久夫 |
| 09.23 [泉村新田] ㇿㇿㇿ(8) 稲刈りのト
ラクターを追いかけて餌を物色
飯泉仁 | 09.28 [弁天下] ㇿㇿ(4) 2号排水路で
採餌
中野久夫 |
| 09.23 [千間橋] ㇿㇿ(1) 岸辺
志賀鉄雄 | 10.01 [上沼田] ㇿ(2) 杭上に
志賀鉄雄 |
| 09.24 [大津ヶ丘1丁目] ャドリ(1) 桜の
木に
志賀鉄雄 | 10.01 [中沼田] ㇿㇿㇿ(1) ドバト2度追
うも不発
志賀鉄雄 |
| 09.24 [千間橋] ㇿㇿㇿ(1) 電柱に止ま
る
志賀鉄雄・山口久夫 | 10.01 [箕輪新田] ㇿㇿㇿ(1) 飛翔
志賀鉄雄 |
| 09.25 [中沼田] ㇿ(1) 田に降り獲物採
餌
志賀鉄雄 | 10.02 [若白毛] ㇿㇿ(1) 木の天辺に止ま
る
志賀鉄雄 |
| 09.25 [中沼田] ㇿㇿ(1) 杭上に
志賀鉄雄 | 10.03 [大井新田] ㇿㇿ(1) 草木に
志賀鉄雄 |
| 09.25 [中沼田] ㇿㇿ(2) 飛翔
志賀鉄雄 | 10.03 [手賀沼下沼] ㇿㇿㇿ(8)
志賀鉄雄 |
| 09.26 [北新田] ㇿㇿ(1) 河川敷柳から飛
立ち
中野久夫 | 10.04 [染井入新田] ㇿ(1) 縁道に降り
電柱上へ
志賀鉄雄 |
| 09.27 [北新田] ㇿㇿ(1) 2号排水路で
採餌
中野久夫 | 10.04 [手賀沼下沼] ㇿㇿ(1) 杭上に
志賀鉄雄 |
| 09.27 [北新田] ㇿㇿ(2) 2号排水路で
採餌
中野久夫 | 10.05 [片山新田] ㇿ(2) 飛翔
志賀鉄雄 |
| 09.27 [北新田] ㇿㇿ(2) 中野久夫 | |

- 10.05 [片山新田] ㇿ`舛(1) 草木に
志賀鉄雄
- 10.05 [手賀沼下沼] ㇿ` (1) 葦上物色飛
翔 志賀鉄雄
- 10.05 [鷺野谷新田] ㇿ` (1) 電柱上
志賀鉄雄
- 10.05 [北新田] ミヅ` (1) 北へ飛翔
中野久夫
- 10.07 [大井新田先大津川河口] ｲヅキ` (1)
干潟状の場所で餌を物色していた
飯泉仁
- 10.07 [大井新田先手賀沼] ミヅ` (1) 水面
の杭に止まっていた 飯泉仁
- 10.07 [染井入新田] ㇿ` 舛(3) 草にとま
ったり、虫を採餌していた 飯泉仁
- 10.07 [布瀬] ㇿ` (1) 金山カントリー倶
楽部上空を巡回していた 飯泉仁
- 10.07 [中沼田] ㇿ` (2) 電柱上に
志賀鉄雄
- 10.08 [下沼田] 材効(1) ドバトを捕食
志賀鉄雄
- 10.10 [手賀沼下沼] ㇿ` が ㇿ` (6)
志賀鉄雄
- 10.12 [東中新宿] ㇿ` (1) 11:30 頃、自宅
上空を鳴きながら 10分以上鳴きながら旋
回していた 飯泉久美子
- 10.12 [下沼田] ㇿ` が ㇿ` ㇿ` (1) 鉄塔に
志賀鉄雄
- 10.12 [鷺野谷新田] ㇿ` が ㇿ` ㇿ` (1) 電柱
上に 志賀鉄雄
- 10.12 [千間橋] ㇿ` が ㇿ` ㇿ` (1) 水田上空
を停飛 鈴木静治
- 10.12 [布瀬] ミヅ` (1) 川中の葦に飛来
鈴木静治
- 10.13 [泉村新田] ㇿ` 舛(3) 収穫後の圃
場で餌を物色 飯泉仁・久美子
- 10.13 [泉村新田先手賀沼] ㇿ` が ㇿ` ㇿ` (4)
エクリプス 飯泉仁・久美子
- 10.13 [泉村新田先手賀沼] ㇿ` が ㇿ` (2) 湖
面の杭に止まっていた 飯泉仁・久美子
- 10.13 [泉村新田先手賀沼] ㇿ` が ㇿ` (2) 葦原
から泳いで湖面に出現 飯泉仁・久美子
- 10.13 [布佐平和台] ㇿ` (1) 上空を巡回
鈴木静治
- 10.13 [北新田] ㇿ` (2) 河川敷上飛翔1、
越流堤監視カメラ上1 中野久夫・金成典知
- 10.14 [手賀沼] ㇿ` ㇿ` (9) 下沼
染谷迪夫・木村稔・桑森亮・田中功
- 10.15 [北新田] ㇿ` (4) 上空を鳴きなが
ら飛翔 中野久夫
- 10.15 [我孫子] ミヅ` (1) 飛翔 平岡考
- 10.16 [布瀬新田] ㇿ` (1) 飛翔 志賀鉄雄
- 10.17 [北新田] ㇿ` ㇿ` (1) 物色飛翔
中野久夫
- 10.18 [岩井新田] ㇿ` 舛(1) セイタカア
ワダチソウ上に 志賀鉄雄
- 10.19 [泉村新田] ㇿ` (3) 飛翔 志賀鉄雄
- 10.19 [下沼田] ヒヅイ(1) 飛翔 志賀鉄雄
- 10.19 [下沼田] ㇿ` が ㇿ` (1) 鉄塔上で食事
志賀鉄雄
- 10.19 [北新田] ㇿ` が ㇿ` (1) 電柱上
中野久夫
- 10.20 [下沼田] ㇿ` (2) 低いパイプ上に
志賀鉄雄
- 10.23 [下沼田] ㇿ` (1) 電柱上に
志賀鉄雄
- 10.25 [手賀川] ㇿ` が ㇿ` (1) 葦中より声
志賀鉄雄
- 10.25 [つくし野] ジョビ` 舛(1) 生垣で
中野久夫
- 10.29 [手賀沼下沼] ミヅ` (1) 杭上より飛
び立ち 志賀鉄雄
- 10.29 [中沼田] ミヅ` (1) カラスに追わ
れ田より飛び立ち、飛翔 志賀鉄雄
- 10.31 [岩井新田] ㇿ` が ㇿ` ㇿ` (1) 田に降
りる 志賀鉄雄
- 10.31 [手賀沼下沼] ㇿ` が ㇿ` (12) 水面に
志賀鉄雄
- 10.31 [手賀沼下沼低地集水路] ｲヅキ` (1)
岸边に 志賀鉄雄
- 11.01 [上沼田] 材効(1) 葦切り橋に止ま
るもカラスに追われ飛び去る 志賀鉄雄
- 11.01 [手賀沼下沼] ㇿ` が ㇿ` (1) 葦中より
声 志賀鉄雄
- 11.01 [北新田] ミヅ` (1) 、2号排水路
で 中野久夫
- 11.02 [江蔵地] ミヅ` (2) 上空巡回飛去る
鈴木静治
- 11.03 [上沼田下沼] ㇿ` が ㇿ` (10) 下沼
桑森亮
- 11.03 [曙橋] ㇿ` (1) 飛翔 桑森亮
- 11.04 [泉] ㇿ` が ㇿ` (6) 鳴きながら木々の
間を移動し、時折地面に下りて木の實を食
べ、木の根元に隠していた 飯泉仁

- 11.04 [泉] 物イダキ(3)木の枝について
いる虫を食べていた 飯泉仁
- 11.04 [大井新田] ベニシコ(1)沼の縁の芦
原で鳴いていた 飯泉仁
- 11.04 [布佐平和台] チョゲンボウ(1)上空
高く旋回 鈴木静治
- 11.05 [上沼田] ルビ(1)休憩 諏訪哲夫
- 11.05 [手賀の丘公園] 物イダキ(2)水浴
び 諏訪哲夫
- 11.05 [手賀の丘公園] ヤガラ(5+)水浴び
諏訪哲夫
- 11.05 [手賀の丘公園] マリ(30+)水浴び
諏訪哲夫
- 11.07 [東中新宿] ツグミ(2)6:12、自宅上
空を鳴きながら通過 飯泉仁・久美子
- 11.08 [北新田] ハイチュウ(1)、物色飛
翔 中野久夫
- 11.08 [北新田] コマルラス(1)耕田で採餌
中野久夫・金成典知
- 11.09 [千間橋] コハク(1)手賀川を泳ぐ
鈴木静治
- 11.09 [岡発戸新田先手賀沼] ハシロガモ
(2)採餌 諏訪哲夫
- 11.11 [光ヶ丘広池学園] ヤガラ(1)14:01、
エゴの実を食べていた 飯泉仁・久美子
- 11.13 [下沼田排水路] ツバメ(2)飛び立
ち 志賀鉄雄
- 11.15 [北新田] アリス(1)越流堤横柳上
中野久夫・金成典知
- 11.16 [手賀沼下沼] チョゲンボウ(1)飛翔
志賀鉄雄
- 11.16 [江蔵地] ヒ(1)上空を旋回
鈴木静治
- 11.17 [泉] マリ(14)14:29、鳴きながら
出現し、手賀の丘キャンプ場傾斜地の桜の
木に飛来 飯泉仁・久美子
- 11.17 [利根川河川敷] チョゲンボウ(1)杭
から飛び去る 鈴木静治
- 11.18 [泉] マリ(1)9:20、カラスに追尾さ
れて上空を旋回していた 飯泉仁
- 11.18 [千間橋] マリ(1)ドバト補食
志賀鉄雄
- 11.18 [手賀沼] マリ(3)上沼1、下沼
2 染谷迪夫・木村稔・佐々木隆・田中功

今回の観察者の総投稿件数

飯泉久美子	12
飯泉仁	403
飯泉仁・久美子	111
桑森亮	11
志賀鉄雄	198
志賀鉄雄・山口久夫	1
首藤佑吉	3
鈴木静治	22
諏訪哲夫	13
染谷迪夫・木村稔・ 桑森亮・田中功	30
染谷迪夫・木村稔・ 佐々木隆・田中功	31
中野久夫	61
中野久夫・金成典知	21
平岡孝	5
総計	922
	(諏訪哲夫)

新会員紹介

吉川洋、吉川民子(我孫子市) 古賀嗣朗、古賀道子(柏市)
栗田勵、栗田千代子(我孫子市)

ほーほーどり No200 2008年(1 ~ 2月号)

発行 2008年1月1日
 発行人 我孫子野鳥を守る会 会長 間野吉幸
 編集人 猪爪敏夫、小玉文夫、佐々木隆、野口紀子、松本勝英、宮下三禮
 事務局 染谷迪夫 〒270 1154 我孫子市白山 1-9-4 Tel 04 7182 3972
 振替 00140-2-647587 我孫子野鳥を守る会
 会費 年会費 2,000円(大学生・高校生 1,000円、中学生以下 500円、家族会員 無料)